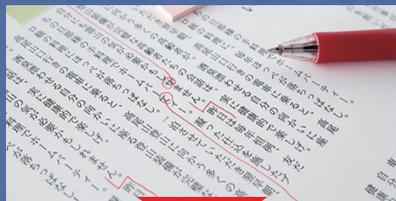




弊社が導入しているBrushupは、ブラウザ上で、チラシや冊子などに手描きの描き込みやコメントができるツールです。弊社では主に印刷物の校正作業に活用しており、多くのお客様から好評を得ております。

Brushup オンライン校正ツール
ブラッシュアップ

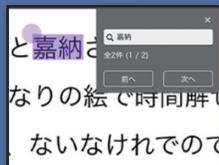
広報誌の入稿・校正に最適です!



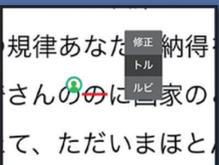
校正・校閲を楽にする
さまざまな機能が
あります

今まではこのように
赤ペンで修正指示を
入れることが主流でしたが...

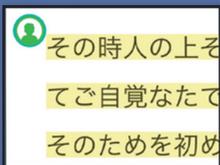
オンライン校正ツール ブラッシュアップの導入で



文字列の検索で
同じ文字に一括で修正を
加えることが可能!



校正記号の挿入も簡単。
選択肢から選ぶだけ!



文字列のハイライトも簡単に
指定可能。差替指示なども
わかりやすく表示できます。

メリット

① 社内外の複数人で一斉に校正が可能!

メリット

② 必要なのはブラウザ機能だけ。ペーパーレスが実現!

Brushupは、校正作業を楽にするだけでなく、ペーパーレス化にも貢献します。ご質問などはお気軽に担当営業までお問い合わせください。

編集後記

表紙の写真にあるような、雲ひとつない秋晴れの日には、美しいオレンジ色の夕焼けが見られます。この「夕焼け」ですが、なぜオレンジ色になるのかご存じですか?それは、太陽が沈むとき、太陽の光が長い距離を通過するため、ださうです。つまり、太陽が低くなると、光が進む大気の層が厚くなり、光はたくさん散らばります。このとき、青や緑の光は簡単に散らばってしまいますが、オレンジや赤の光は散らばりにくいため、空にはオレンジ色や赤色が残り、オレンジ色に見えるということなんですね。この仕組みを知れば、次に夕焼けを見るときは、少し違った視点でその美しさを感じられるかもしれません。(T)

nexTRY vol.103
総合印刷の総北海が発信するコミュニケーション誌 2024年10月

株式会社総北海 www.sohokkai.co.jp

旭川/〒078-8272 旭川市工業団地2条1丁目1番23号

TEL.0166-36-5556

FAX.0166-36-5657

札幌/〒065-0021 札幌市東区北21条東1丁目4番6号

TEL.011-731-9500

FAX.011-731-9515

東京/〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-25-10 加藤ビル2F

TEL.03-5625-7321

FAX.03-5625-7323

<https://www.sohokkai.co.jp>

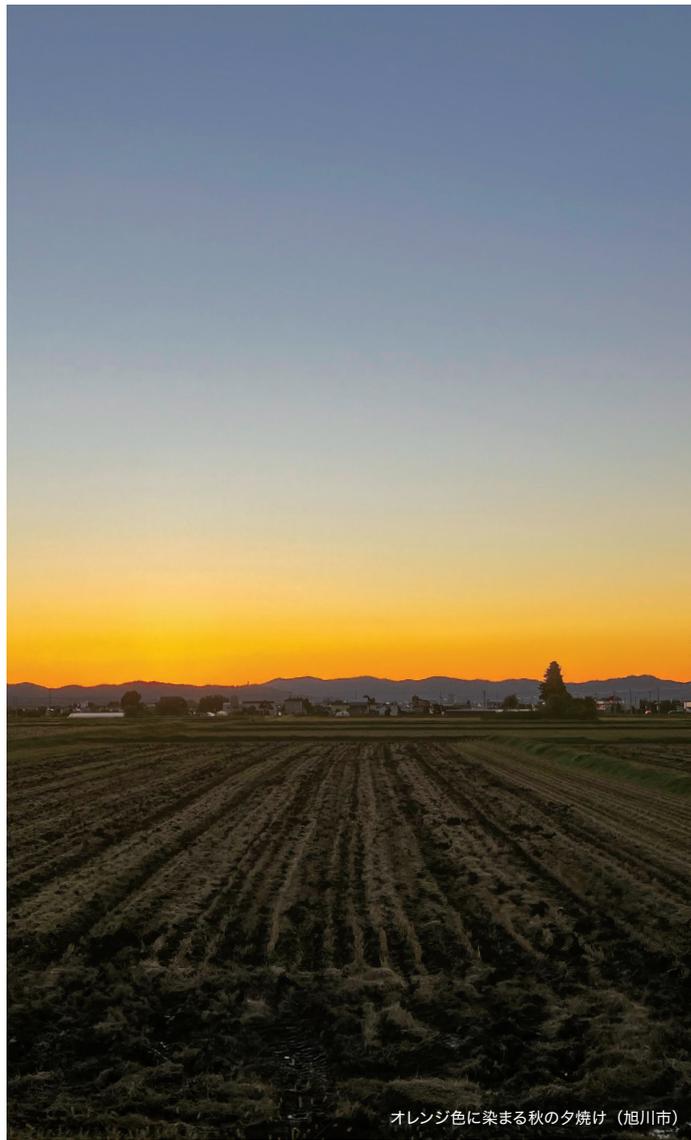
<https://www.facebook.com/sohokkai/>

nexTRY

vol.103
2024年10月

総合印刷の総北海が発信するコミュニケーション誌

第3回 広報誌制作担当者向けオンラインセミナーを開催しました 広報誌デザインのビフォーアフター



オレンジ色に染まる秋の夕焼け (旭川市)

第3回 広報誌制作担当者向けオンラインセミナーを開催しました 広報誌デザインのビフォーアフター

去る2024年10月10日（木）に、「第3回広報誌デザインオンラインセミナー」を開催しました。

今回は、広報誌や情報誌の制作に携わる自治体を含めた幅広い業種の皆様を対象に、誌面デザイン改善についてビフォーアフター形式で改善方法を詳しく解説しました。

オンラインセミナーのコンテンツ内容

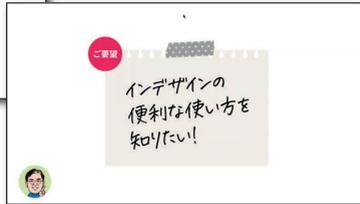
- ・モノクロで作るときとカラーで作るときの違い
- ・表紙デザインについて
- ・モノクロ写真はどれくらい明るくする？
- ・見開き改善案
- ・情報の多いページの改善案
- ・InDesignの便利な使い方



ZOOMのウェビナーを利用して、約1時間のセミナーを開催しました。



弊社のグラフィックデザイナー・オペレーターが講師となり、解説しました。



セミナーでは、北海道愛別町の広報誌を事例に、デザイン改善プロセスを具体的に紹介し、特にモノクロデザインの活用法や、余白の使い方、レイアウトのメリハリを強調する技術について深く掘り下げました。

また、インデザインを使用した実践的な操作方法や、QRコードの作成・配置のポイントなども取り上げて解説しました。

オンラインセミナー後のアンケート結果から

Q.本日のセミナー内容は、広報誌制作に役立ちそうですか？

- ・役に立ちそうだ 96%
- ・少しは役に立ちそうだ 4%

Q.セミナー内容で良かったものをお選びください（複数回答可）

- ・情報の多いページの改善案 65%
- ・モノクロで作る時とカラーで作る時の違い 54%
- ・見開き改善案 54%
- ・InDesignの便利な使い方 46%



Q.次回、このようなセミナーが開催されたらまた参加したいですか？

- ・ぜひ参加したい 81%
- ・内容次第では参加したい 15%

Q.次回参加するとしたら、どんな内容を期待したいですか？

- ・インデザインのよく使う機能をメインにしたセミナーがあれば参加したい。また、初心者として余白をうまく使う勇気が持てず、ギチギチなレイアウトにしてしまう。広報誌の見え方やメリハリをつける方法を中心に学びたい。
- ・ユニバーサルデザインのフォントや、フォントサイズの最小許容範囲についても解説していただくと嬉しい。
- ・視認性の高いフォントや数字フォント、見出しで使いやすいフォントの例を知りたい。
- ・エンドユーザーの視点を取り入れたデザイン改善の解説が非常にわかりやすく、今後もエンドユーザーに配慮した誌面作りについて学びたい。など多数のコメントを頂戴しました。



多くの方がセミナーを有益だと感じてくださり、特にビフォーアフター形式の解説やインデザインの操作方法が高く評価されました。今後も、皆様からいただいたご意見を参考にしつつ、広報誌制作における重要なテーマに焦点を当て、より充実した内容を提供できるよう努めてまいります。

なお、次回のセミナー開催に関しては、具体的な予定はまだ決まっておりませんが、引き続き皆様にとって有益な情報を発信できる機会を考えてまいります。

今後の情報にぜひご期待ください。

こちらから
簡単なアンケートに
お答えいただくと
第3回セミナー動画が
視聴できます

